



How we move you.
CREATE ▶ TRANSCEND, AUGMENT

N
BOX

PRESS INFORMATION 2023.10.5

日本一の感謝を込めて、みんなの暮らしをもっともっと豊かに変えていく。

「日本にベストな新しいのりものを創造したい」という思いから開発をスタートしたNシリーズは、その志と使いやすさでたくさんのお客様に愛され、2023年3月に累計販売台数350万台を達成しました^{※1}。なかでもN-BOXは、登録車を含む新車販売台数において2年連続(2021~2022年度)、軽四輪車新車販売台数においては8年連続(2015~2022年度)で第1位^{※2}を獲得するなど、まさに日本を代表するクルマへと育てていただきました。

軽自動車はHonda四輪事業の原点であり、N-BOXはHondaのクルマづくりの基本である「M・M思想」^{※3}を色濃く受け継ぐモデルです。いただいた高い評価は、Hondaのクルマづくりに対する共感であると同時に、よりよい軽自動車をHondaに期待する、応援の声だと受け止めています。

3代目となる新型N-BOXは、お客様とともに培ってきたN-BOXのよさを守りながら、時代によりマッチした進化を追求しました。わたしたちの思いが日本の暮らしをもっともっと豊かに変えていくことを信じて、Hondaは新型N-BOXを送り出します。



CONTENTS

はじめに	P2	パッケージデザイン	P7	Honda CONNECT	P29
Nシリーズのあゆみ	P3	エクステリアデザイン	P9	安全	P31
開発コンセプト	P4	インテリアデザイン	P14	スロープ仕様車	P35
タイプバリエーション	P5	使いやすさ	P20	主要装備	P36
主な進化ポイント	P6	走りやすさ	P24	主要諸元／環境性能	P37

※1 2011年12月発売から2023年3月までのNシリーズ(N-BOX, N-BOX+, N-ONE, N-WGN, N-BOX SLASH, N-VAN)国内累計販売台数。一般社団法人 全国軽自動車協会連合会(全軽自協)調べ。

※2 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会(自販連)および一般社団法人 全国軽自動車協会連合会(全軽自協)調べ。いずれも年度統計。

※3 「M・M思想」とは、「人のためのスペースは最大に、メカニズムは最小に(マン・マキシマム/ メカ・ミニマム)という、「人が中心」の発想で取り組むHondaのクルマづくりの基本思想。

みんなの暮らしに寄り添いながら進化を続ける、日本のクルマ。

Nシリーズは、2011年12月に発売した初代N-BOXから始まりました。当時のメッセージは“New Next Nippon Norimono”。そこには、「軽自動車だから」という妥協やあきらめを一切排除し、日本の暮らしに最も適した新しい乗り物を創造したいという思いが込められていました。その思いを原動力に、Honda独自のセンタータンクレイアウトや、F1技術までをも応用した動的性能などによって、それまでの軽自動車の概念をくつがえす価値と魅力を創出。さらに、お客様一人ひとりのベストなマイカーをめざしたN-ONEや、居住性、安全性、燃費性能、デザイン、走りの

すべてを高い次元で備えたN-WGN、働く人々の生活を見つめたN-VANなど、「日本の生活に寄り添うクルマ」をめざしてラインアップを充実させてきました。3代目となる新型N-BOXがめざしたもののは、これまで培ってきた広さや使いやすさを守りながら、より幅広い層のお客様に寄り添うこと。子育て家族はもちろんのこと、初めてクルマを持つ若年層や子育てを終えた熟年層まで、日本に暮らすみんなの毎日を豊かにすることでした。

**N
BOX**

センタータンクレイアウトにより軽乗用車最大級^{※1}の室内空間を実現。N-BOX+やN-BOX SLASHでラインアップを拡充。2代目では「家族のしあわせ」を追求。

**N
WGN**

軽乗用車の「新しいベーシック」をめざし、居住性、安全性、燃費性能、デザイン、走りのすべてを高次元で融合。2代目では、親しみやすさがより感じられるクルマへ進化。

**N
ONE**

個性的な外観デザインと多彩なドレスアップでプレミアムな軽乗用車を提案。2代目では普遍的・不変的価値を追求しクルマの本質をさらに向上。

**N
VAN**

働く人々の生活を見つめ、軽バンの新基準となることをめざして開発。軽バン初^{※2}のセンターピラーレス仕様により、さまざまなシーンで荷物の積載作業を効率化。



※1 2011年11月末時点。Honda調べ。

※2 軽貨物車において。2018年7月時点、Honda調べ。

「家族のしあわせ」から「みんなのしあわせ」へ。 日本の毎日にしあわせな生活リズムをもたらす「HAPPY Rhythm BOX」。

N-BOXが、長年にわたって多くのお客様に愛される理由を紐解くと“総合力の高さ”と言えます。お客様の声を分析すると、N-BOXへの満足度は全方位で軽スーパー・ハイワゴンの平均を上まわっており^{※1}、その高い総合力が、普通車(登録車)からの乗り換えを含む多くのお客様に支持されてきたのだと思います^{※2}。新型N-BOXの開発にあたってまず浮かんだのは、その総合力のすべてを、もう一段高い次元へ引き上げたいという想いでした。

振り返ればN-BOXは、子育て期の女性にフォーカスした初代に始まり、2代目でその志を「家族のしあわせ」に広げることで、多くのお客様に愛されるクルマに育ちました。次の目標は、しあわせの輪をさらに広げることです。女性や家族に留まらず、親しい友達や地域の仲間まで、お客様が大切に思う“みんな”的しあわせを後押しすることです。その想いから、開発コンセプトを「HAPPY Rhythm BOX わたしも、家族も、日本も、ハッピーになれる『幸せな生活リズム』をつくる」と定め、お子様の送り迎えから仲間との集いまで、毎日をリズムよく過ごせるクルマの創造をめざしました。すみずみまで行き届かせた配慮と工夫が、日本の暮らしにさらなる豊かさをもたらすことを願ってやみません。

HAPPY Rhythm BOX わたしも、家族も、日本も、ハッピーになれる「幸せな生活リズム」をつくる



新型N-BOX開発責任者
諫山 博之 (いさやま ひろゆき)

本田技研工業株式会社 四輪事業本部
ものづくりセンター チーフエンジニア

1989年、本田技研工業株式会社入社。1992年に株式会社本田技術研究所に転籍し、初代オデッセイ、初代ライフ、初代インテグラ等のインテリア設計に従事。2008年、アジア専用モデル初代ブリオのインテリア設計プロジェクトリーダー(PL)を務め、2017年、アジア市場をメインターゲットとする2代目BR-Vの開発責任者代行(設計領域)に就任。今回、新型N-BOXの開発責任者(LPL)を務める。



※1 軽スーパー・ハイワゴン購入者の満足度調査において、N-BOXは全方位で平均を上まわる。Honda調べ。
※2 軽自動車購入者の前有車調査において、普通車からN-BOXへの乗り換えユーザー比率が平均を上まわる。Honda調べ。

人に街に日本にフィットする、新しいN-BOXの提案。

HAPPY Rhythm

N-BOX

N-BOXらしさをシンプルかつ上質に磨き上げ、
さまざまなお客様にフィットし街にもなじむ親しみやすさを追求。



PROUD Rhythm

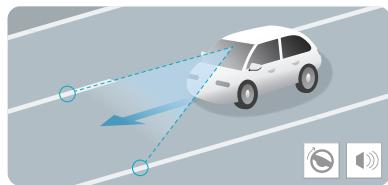
N-BOX CUSTOM

品格と高性能を表現し、
誇りと満足を感じられる新しいカスタム像を提案。



主な進化ポイント

日本の暮らしにもっともっと寄り添うために、全身を思いやりで満たしました。



■さらに進化した
「Honda SENSING」▶P32



■運転のしやすさに配慮した視界
▶P16



■乗り物酔いに配慮した後席視界
▶P16



■後席の利便性を高める
大型サイドポケット▶P21



■シンプルに、高品位に進化した
フロントフェイス



■ひと目でN-BOXとわかる堂々とした四角いフォルム
▶P10



■7インチTFT液晶メーター
(Honda軽初)▶P17



■Honda CONNECT
(Honda軽初)▶P29



■遊び心の隠れN▶P23



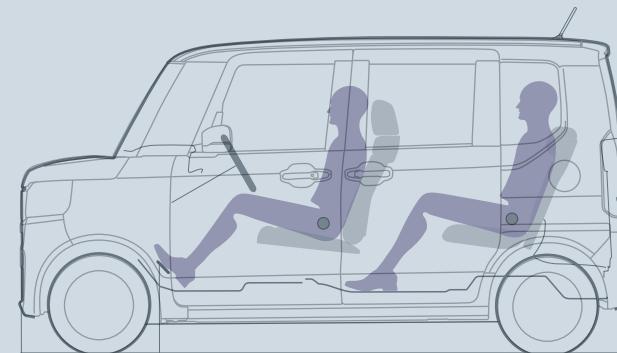
■雑味を徹底排除した上質な走り▶P24



■軽乗用車最大級※の室内空間を
さらに広く感じさせる視覚効果▶P19

※ 2023年10月現在。室内三寸法(室内長、室内幅、室内高)に基づく。Honda調べ。

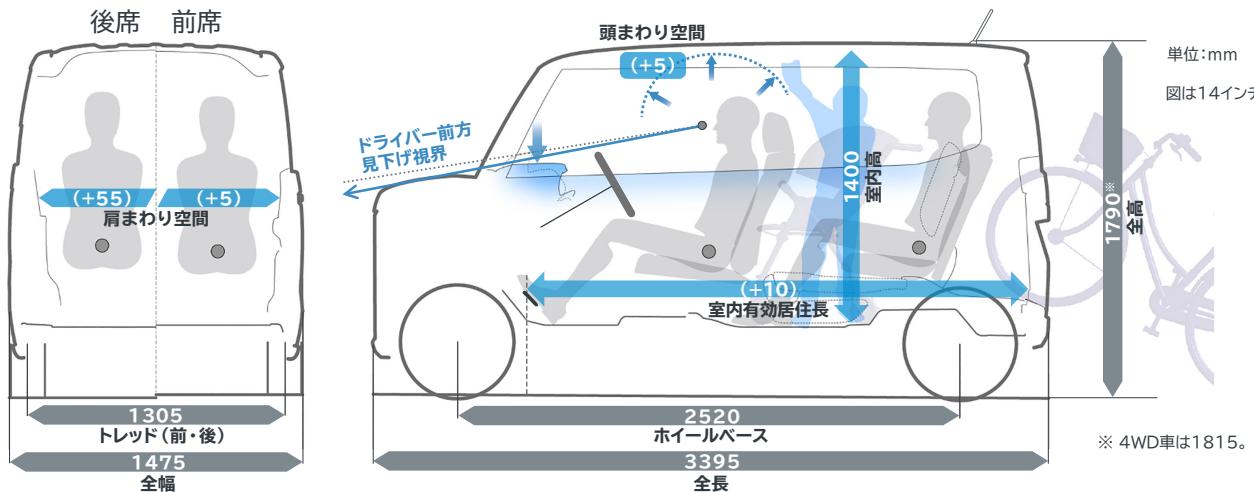
パッケージデザイン
軽乗用車最大級[※]の広さを誇る
室内をさらに使いやすく。



圧倒的な広さをさらに磨き上げ、大人4人がのびのび過ごせる室内を追求。

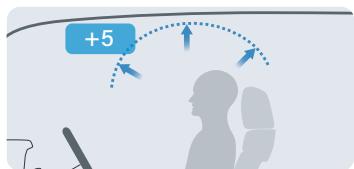
「人のためのスペースは最大に～」とするHondaの「M・M思想」から生まれたN-BOXは、初代で実現した軽乗用車最大級※の広い室内を受け継ぎ、その価値を高めてきました。新型N-BOXでは、基本的なパッケージレイアウトを継承しながら、これまで以上にゆとりを感じていただけるよう、ミリ単位で各部の形状を吟味しました。定められた規格のなかで寸法的な広さを限界まで追求するとともに、寸法には表れない広さ感や居心地のよさに配慮を行き届かせることで、大人4人がのびのび過ごせるゆとりの室内を追求しました。

●ディメンジョン



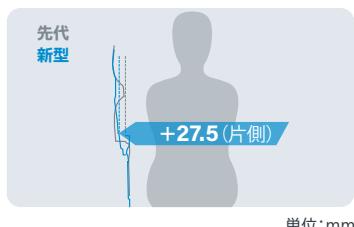
■前席広さ感の向上

ルーフ形状のスムーズ化により前席の頭まわり空間(ヘッドクリアランス)を、先代モデルに対し5mm拡大。フラットデザインのインストルメントパネルや爽快な前方視界とあいまって、ドアを開けた瞬間に「あ、広くなった」と感じられる前席を実現しました。



■のびのび過ごせるゆとりの後席

リアサイドの内部構造を見直すことで室内側への張り出しを最小化し、後席の肩まわり空間(ショルダールーム)を、先代モデルに対し55mm(片側27.5mm)拡大しました。センタータンクレイアウトがもたらす広々とした足まわり空間や足引き性のよさと合わせ、好みの姿勢がとりやすい後席としました。



単位:mm

N-BOXの特長 センタータンクレイアウト

燃料タンクを車体のほぼ中央である前席下に收めるHonda独創のパッケージング技術。リアシートをフラットにダイブダウン収納できるため、フロアが低く使いやすい荷室を実現します。多彩なシートアレンジや後席の優れた足引き性など、N-BOXにさまざまな魅力をもたらしています。

エクステリアデザイン
N-BOXらしさをシンプルかつ
上質に磨き上げました。

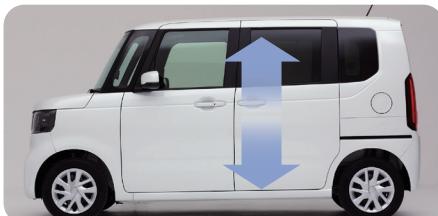


“N-BOXらしさ”を造形そのものから磨き上げた、シンプルで上質なたたずまい。

N-BOXは、安定感のある四角いフォルムを基本に、タイヤを車体の四隅に配置することで生まれるスタンスのよさや、高いベルトラインが醸し出す安心感などにより、それまでの軽自動車とは一線を画す堂々とした外観を確立してきました。新型N-BOXの開発にあたってまず考えたことは、こうした“N-BOXらしさ”を受け継ぎながら、お客様の暮らしに寄り添うパートナーとして、日本で最も支持されるクルマとして、これまで以上に人や街にじむこと。そのうえで、お客様の心豊かな毎日を想像させる高い質感を実現することでした。そのために、ラインや加飾などによる主張を抑える一方、要所を磨き上げることで、造形そのものから上質さが感じられるデザインをめざしました。

■塊感のさらなる進化

N-BOXの特長である上下に長いドアパネルを、先代モデル以上にシンプルな面で構成しながら、上品な抑揚を与えました。ボディー全体の塊感を強め、力強さと品格を兼ね備えた、堂々としたたたずまいを実現しています。



■広さ感と安心感のさらなる進化

N-BOXならではの塊感を大切にしながら、サイドキャラクターラインをリアタイヤ前でキックアップさせることで、リアピラーやルーフとの連続感を創出。広い室内を頑丈な構造体が包み込むような、頼もしい見え方を追求しました。



■安定感のさらなる進化

前後フェンダーをなめらかに隆起させるとともにバンパーコーナーにボリュームを持たせました。タイヤの四隅配置が生み出すスタンスのよさを強調し、走りのよさを表現しています。



N-BOXの特長 ドアパネル

上下に長い大面積ドアパネルは、初代から継承するデザインの特長。サイドウインドウとの対比によって、広い居住空間を感じさせながら下半身をたくましく見せ、上級ミニバンのような安定感を醸し出しています。

シンプルで街になじむ、親しみやすいスタイリング。

N-BOXは、「HAPPY Rhythm」をキーワードに、日本の暮らしや街にこれまで以上に調和するエクステリアデザインをめざしました。シンプルに磨き上げた造形美を基本に、清潔感のある表情や

安定感のある下まわり表現などによって、街に溶け込みながらも、心豊かな暮らしを想像させるスタイリングを実現しました。



■瞳イメージの親しみやすいヘッドライト

人間の目の構造を参考に、上下の隠れ量や分割部の幅などをミリ単位で吟味し、どの角度からでも瞳らしさが自然と感じられる、親しみやすいヘッドライトをデザイン。精緻なつくりによって先進感や上質感も向上させています。



■附近を感じさせる丸穴フロントグリル

インターホンやスピーカーなど身近な家電製品に見られる丸穴デザインを採用することで、清潔感や新しさを表現するとともに、お客様の暮らしに寄り添うイメージをめざしました。



■シンプルデザイン

アウタードアハンドルまわりのデザインをシンプルにし、キャラクターラインとの一体感を高めました。パノラミックなウインドウや大面積のドアパネルが醸し出す塊感を損なうことなく、上質感を向上させています。



■シンプルで機能的なリアコンビネーションランプ

ボディーのフォルムになじむシンプルな造形としながら、コントラストの強いカラーで構成し、素直で機能的な見え方としました。



誇りと満足を感じられる、新しいカスタム像。

新型N-BOX CUSTOMでは、強さや押し出し感を強調するのではなく、オーナー自らが誇りと満足を感じられ、「自分を高めるパートナー」と思っていただけるデザインをめざしました。そこで、「PROUD Rhythm」をキーワードに、先代モデル以上に品格と高性能を感じさせる表現を追求。



■カスタムデザインフロントグリル

メッキを控えたグロスブラックのパネルに六角形の吸気口を整然と配置。立体感のある緻密なデザインとしました。フォーマルな印象を強めるとともに、光の当たり方で表情が変化する高品位な見え方を実現しています。



■ダイレクトプロジェクション式フルLEDヘッドライト(Honda初)

反射板や遮光板を用いず、レンズの作用のみで集光・遮光を行うダイレクトプロジェクション式フルLEDヘッドライトをHondaとして初めて採用しました。ヒートシンクをイメージした精悍なデザインと、輪郭が鮮明な光り方が、先進感と特別感を醸し出します。



フォーマルさをまといながらもアグレッシブな走りを予感させる、新しいカスタム像を創出しました。

CUSTOM

■品格漂う横一文字ライト

左右のポジションランプと中央のアクセサリーランプをつなげ、全幅いっぱいの横一文字ライトを完成させました。加飾に頼らずにワイド感や存在感を強めることで、新しいカスタム像を象徴させています。



●スムーズかつ高品位に光が流れるシーケンシャルターンシグナルランプ
先代モデルが軽乗用車として初めて^{*}採用し、お客様からの評価も高いシーケンシャルターンシグナルランプを進化させて採用しました。発光部を限りなく薄くし横一文字ライトの両翼を担わせるとともに、LEDを先代モデルの5灯から6灯に増やしたうえで導光レンズを適用。光がシームレスに流れる高品位な表現としました。



■伝統のクリアレンズを継承したフルLEDリアコンビネーションランプ

リアコンビネーションランプは、N-BOXと共通の造形としながら、アウターレンズに初代から受け継がれるクリアカラーを採用しました。ひと目でN-BOX CUSTOMとわかるデザインであると同時に、フォーマルで落ち着いた印象を醸し出します。



■N-BOX CUSTOM専用エアロデザイン

フロント・サイド・リアそれぞれに、ロー&ワイドな見え方と空力性能を考慮した専用デザインを採用しました。



* 2017年8月時点。Honda調べ。

N-BOX

日常に溶け込む親しみやすさを追求し、人気の高いベーシックカラーと、さりげなくおしゃれなファッショスタイルをラインアップ。

ボディーカラーは、「シンプルに日常に溶け込む親しみのある色」をテーマに設定しました。ベーシックカラーは人気の高い無彩色系を充実させて7色をラインアップ。ファッショスタイルは、新色オータムイエロー・パールを含む3色を用意しました。

ベーシックカラー 全7色

無彩色系を充実させたラインアップ。



ファッショスタイル 全3色

白色ドアミラー、白色アウタードアハンドル、ボディー同色フルホイールキャップを採用した、さりげなくおしゃれなカラー・パッケージ。新色オータムイエロー・パールは、彩度を抑えマスタード色に近づけたイエローで、日常に寄り添う温かみのある色をめざして開発しました。



※ タフタホワイトIIIは法人向けスロープ仕様車専用色。

N-BOX CUSTOM

スタイリッシュなベーシックカラーと、特別感を際立たせたコーディネートスタイル。

ベーシックカラーはN-BOX CUSTOMらしいスタイリッシュな色調の6色をラインアップしました。また、特別感やハイパフォーマンスイメージを際立たせるカラーとして、コーディネートスタイルを3色設定しました。

ベーシックカラー 全6色

N-BOXのモノトーン(全7色)から5色を厳選し、ミッドナイトブルービーム・メタリックを加えた6色をラインアップしました。



コーディネートスタイル 全3色

特別感とハイパフォーマンスイメージを際立たせたコーディネート。アウタードアハンドルにダーククロムメッキを施し、ブラックアルミホイールによって精悍さを一層高めました。モノトーン、または、ブラックルーフのツートーンを選択できます。



インテリアデザイン
みんなが集まるラウンドリビング。



家族や友達を自然と集わせなごませる、ぬくもりに満ちたラウンドリビング。

インテリアデザインは、家族はもちろん、友達や仲間が自然に集い、みんなと楽しく過ごせる空間をめざしました。開発の大きなヒントとなったものが、古民家などに残る伝統的な屋内設備“囲炉裏（いろり）”です。調理器具であり暖房器具でもある囲炉裏には、家族や来客を集結させる機能があるとされ、現在でも、そのぬくもりを魅力の中心に据えた宿や料理店が日本各地に存在します。新型N-BOXも、囲炉裏のように自然と人々が集まるクルマにしたいと考えたのです。そこで、室内を1つの大きなリビングととらえ、要所の角をおおらかに丸めることで、乗員みんなをやさしく包み込むイメージを追求。そこから生まれる一体感が囲炉裏のように家族や友達を自然と集わせなごませる、そんな空間をめざしました。



※イラストはイメージです。

■一体感と安心感をもたらすラウンド表現

インストルメントパネル、ドライニング、シートを、シームレスかつラウンドイメージで表現しました。乗員みんなの一体感を強め、また、守られている安心感も得られる空間としています。



■ラウンドイメージを強める機能部品レイアウト

スイッチやエアアウトレットなど複雑に見えがちな機能部品を、ブラックで統一したうえでインパネトレーラー下に集中配置しました。ラウンドイメージを強めると同時に、視認性や操作性を高めています。



■人にやさしい角丸処理

大型部品の角をおおらかに丸めることで人に対してやさしい印象を与えました。空間全体が醸し出すラウンド感と合わせ、自然にくつろぎ打ち解け合えるイメージを創出しています。



N-BOXの特長 有効居住長

N-BOXは、室内広さの指標である有効居住長（ペダルからテールゲートまでの長さ）においてクラストップ[※]を維持し続けています。「M・M思想」に基づきコンパクトなエンジンや効率的なパッケージを実現したHondaの技術力が、広さという普遍の価値をもたらしました。

運転のしやすさと、乗り物酔いのしにくさを追求した安心視界。

N-BOXは、さまざまな層のたくさんのお客様に支持されるクルマです。運転に不慣れな方でも自信を持ってハンドルを握れ、また、長距離移動でも快適な後席を実現するために、無意識レベルでの視覚・視認効果にまで踏み込んで検証を行い、乗員みんなにやさしい安心視界をめざしました。



■車両感覚が把握しやすい水平・直線基調

フラットなダッシュボードに加えインストルメントパネルを水平基調とし、また、フード稜線と窓ガラス下端のラインを進行方向と平行に連続させることで、走行中の自車の傾き(ロール姿勢)や向きを把握しやすきました。



■自信を持ってハンドルを握れる運転視界

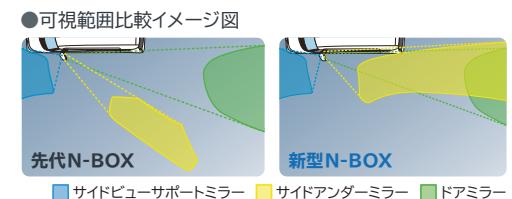
高いアイポイントや短いフロントオーバーハングに加え、インホイールメーターの採用によりダッシュボードのフラット化を実現したことで、これまで以上にすっきりした前方視界を獲得しました。



●前方視界比較イメージ図
ドライバーからの死角エリア
1.5m
ドライバー前方グラウンド不可視長を先代モデルに対し1.5m短縮。歩行者の足の向きまで視認しやすく、市街地走行時や前進駐車時の安心感を高めます。

■不安な左側方視界をサポートするピタ駐ミラー

左側フロントピラーに設置していた2つのミラーのうちサイドアンダーミラーをドアミラーに移設し、フロントピラーをすっきりさせることで左前方の視界を向上させました。また、後方用のサイドアンダーミラーとドアミラーを集約することで後方確認をしやすくしています。サイドアンダーミラーは、リアタイヤ付近まで映すようにし、狭い道を左折する際や後退駐車時の安心感を高めました。



■乗り物酔いに配慮した後席視界

“後席乗員は前方が見えにくくと姿勢や視線を乱し酔いやすくなる”という研究結果に基づき、ハーフシェードの廃止やインホイールメーターの採用などにより後席からの前方視界を向上。長距離移動でも乗員全員が快適に過ごせるよう配慮しました。



ラウンドリビングの一体感と運転のしやすさを両立させた運転席まわり。

日本の暮らしに寄り添うクルマだから、毎日気持ちよくお使いいただきたい。そんな思いを込め、ストレスにつながりかねない視覚的ノイズを徹底的に排除しました。一方、必要な情報が瞬間に認知でき、したい操作が直感的に行える機能性を追求。誰もが自信を持って運転できる運転席をめざしました。



すっきり視界を実現したインホイールメーター

ステアリングホイールの内側でメーターを視認するインホイールメーターを採用。ダッシュボードのフラット化により、すっきりとした運転視界を実現しました。



7インチTFT液晶メーター(Honda軽初)

Hondaの軽自動車として初めて、すべての情報を液晶パネルで表示するフルグラフィックメーターを全タイプに標準装備しました。必要最小限の情報に絞り込んだ「シンプル表示」を基本に、多彩な情報から必要な情報を選択して表示できる「インフォメーション表示」に、ステアリングスイッチで簡単に切り替えできます。

● シンプル表示

速度や現在時刻など、運転と行動に必要な最小限の情報を表示。画面の自車は実際の車両と連動してランプ類が点灯し、Honda SENSINGによるブレーキ作動なども確認できます。



● インフォメーション表示

オドメーター、タコメーター、平均車速、燃費(平均/瞬間)、推定航続可能距離、などから、必要な情報を選択して表示できます。



爽快感と運転のしやすさを追求した2本スポークステアリングホイール

2本スポークタイプのステアリングホイールを採用。水平基調を引き立てるとともに、足元の視覚的な爽快感を高めました。N-BOX CUSTOMには、しっとりと手になじむ本革巻タイプが適用されます。また、人間工学の知見に基づき運転しやすい断面形状を追求。手の小さな方でも握りやすく操作のしやすい形状とっています。



より使いやすく整理したスイッチ類

先代モデルではインストルメントパネル下側に配置していたプッシュエンジンスタート/ストップスイッチを、より使いやすいメーター横に配置しました。また、パーキングセンサーシステムスイッチやイルミネーションコントロールスイッチをカスタマイズ機能に取り込み、スイッチ配置をシンプルにしました。



自宅のリビングのように集いくつろげる、ぬくもりとおもてなしの空間。

家族も友達も、みんなが自然に集い楽しく過ごせる空間をめざし、自宅のリビングを思わせる工夫を施しました。



■異色ミックス樹脂製インパネトレー

インパネトレーは単なる“モノが置ける場所”を超え、大切なものを飾るリビングの出窓のようなスタイルを追求しました。異なる色の樹脂材をミックスすることで、N-BOX CUSTOMはぬくもりのあるコルクのような質感を、N-BOX CUSTOMは、高級感のある大理石の質感を再現しています。



■石目調シボ表皮

インストルメントパネルなどの表皮に、Hondaとして初めて石目調シボを採用しました。リビングの壁材を思わせる柄とすることでリラックスできる室内をめざしました。N-BOXは清潔感のあるグレージュ、N-BOX CUSTOMは空間を引き締めるブラックです。



■インテリアイルミネーション(N-BOX CUSTOMのみ)

N-BOX CUSTOMのインパネトレー(助手席側)、ドリンクホルダー(運転席側)、そして前席足元に、Nシリーズとして初めてLEDを用いたインテリアイルミネーションを採用しました。なかでもインパネトレーは、奥に配置した光源が美しいグラデーションを浮かび上がらせる上質な見え方を実現。落ち着いたおもてなし空間を創出します。



N-BOX

リビングライクなグレージュ内装。

暮らしにじむグレージュを基本にコーディネート。シートは、グレージュとグレーの2トーンファブリックとしました。ソファーのような質感とやわらかな触感で、乗る人を心地よく包み込みます。座面の角や背もたれの肩口など手をつきやすい箇所を、汚れが目立ちにくいグレーとすることで、子育て層のお客様にも安心してお使いいただけるよう配慮しました。



●トリコットシート

メイン部に濃い色と薄い色を混合した奥行きのあるファブリックを採用。横基調のコーディネートで、乗る人を心地よく包み込みます。



■広い室内をさらに広く感じさせる横基調コーディネート

インストルメントパネル、ドアライニング、シートバックのグレージュ部分を同じ高さで揃えました。グレーとのコントラストで横基調を強め実寸以上の広さを感じさせています。部品を横断して整えられたラインは室内に統一感をもたらし、みんなが集うラウンドリビングにふさわしい空間を創出。



N-BOX CUSTOM

パフォーマンスの高さを予感させる、精悍で誇り高いブラック内装。

N-BOX CUSTOMは、パフォーマンスの高さを予感させるブラックでコーディネート。シートは3タイプを用意しました。



●トリコットシート

ソファーのようにやわらかな触感のファブリックシート。メイン部とサイド部を質感の異なるブラックとすることで、フォーマルな印象を高めました。



●コンビシート

メイン部を上品なスエード調、サイド部をしっとりとした革感のプライムスムースとステッチを施しました。スポーティーでありながら細部まで上質感のあるシートです。



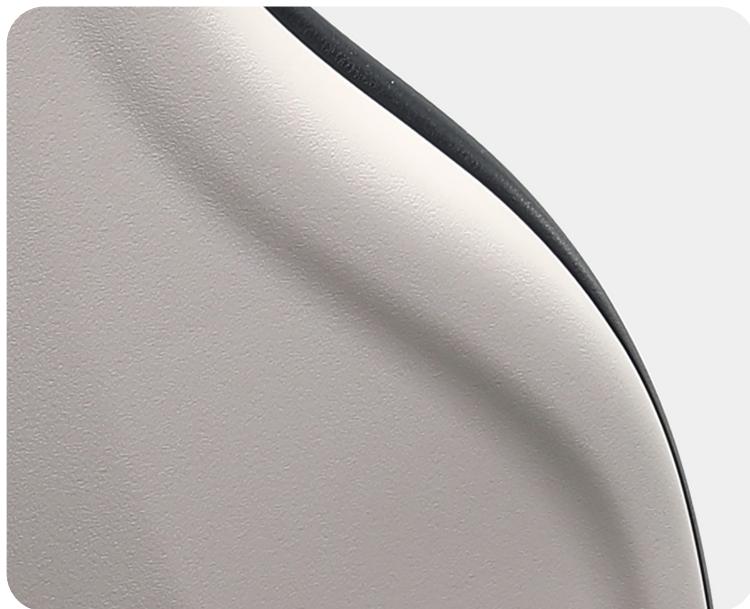
●フルプライムスムースシート

全面にプライムスムースを採用し、スポーティーなカーボン調アクセントを施すことでパフォーマンスの高さを表現しました。



使いやすさ

知恵を絞り工夫を凝らした
みんなのための使いやすさ。



乗る人みんなが使いやすい収納。

友達や仲間とのつながりを大切にする新型N-BOXの室内は、“急な来客”でもスマートに応接できる空間でありたいと考えました。そこで、見せる収納と見せない収納を整理したうえで、配置や

容量、そして形状を吟味。よく使う小物やドリンクは出し入れしやすい箇所に、常備しておきたい小物は大容量のグローブボックスに。乗る人みんなが使いやすい収納をめざしました。



■手軽に使えるアッパー収納
インパネトレーのほか、これまでセンターコンソールに装備していた助手席側ドリンクホルダーをインストルメントパネル外側に設けることで、より手軽に使えるようにしました。

■すっきりしまえて使いやすい大容量グローブボックス
グローブボックスは、先代モデルの2倍以上となる7.6Lの大容量。さまざまな日用品がすっきりしまえ、スムーズに使えるよう工夫を凝らしました。



取扱説明書とボックステイッシュを常備したうえで、子育て層が日常的に使うポーチや除菌シートなどを収納できる大容量。

■フロントドア収納
ボトルホルダー付ロアーポケットのほか、ちょっとした小物が置けるブルポケットも装備。

■後席の利便性を高める大型サイドポケット
後席乗員の手が届きやすいサイドポケットを大型化しました。特に右側は、ドリンクのほか、スマートフォンやボックステイッシュ、おもちゃなどが収納できる大容量。

毎日を、ラクに楽しく豊かに彩る工夫と配慮。

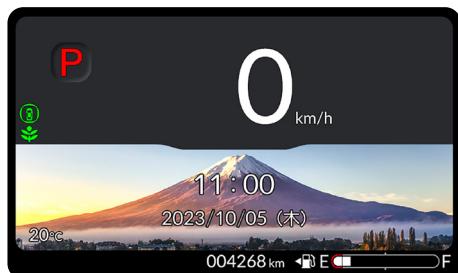
多くのお客様に支持されるクルマであるだけに、変えてはならない価値がたくさんあります。しかし、多くのお客様に支持されるクルマだからこそ、お客様の毎日にもっともっと寄り添いたいと考えました。ちょっとした工夫かもしれません。ささやかな進化かもしれません。それでもHondaは、お客様の笑顔を思い浮かべながら知恵を絞りました。

■液晶メーターの表現力を生かした楽しい機能

TFT液晶メーターの豊かな表現力を生かし、遊び心のある楽しい機能を備えました。エンジンスイッチをオンにするたびに映し出される美しい風景に、毎日新鮮な気分で運転をスタートできます。

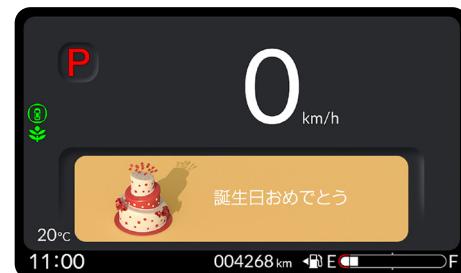
●カレンダー表示

日時に加え日本各地の名所写真が表示されるカレンダー表示機能を、Hondaとして初めて搭載。100枚の美しい写真からランダムに選択して表示します。



●記念日表示

誕生日や記念日を事前に設定しておくと、当日にスペシャル画面を表示。新型N-BOXからのささやかな祝福です。



■後席まわり

●乗り降りらくらくグリップ

スライドドア開口の一部をグリップとして使いやすい形状とすることで、後席の乗り降りを容易にしました。開発にあたっては3歳・6歳児の身長や手の大きさを調査し、お子様がひとりで乗り降りしやすい高さと形状を導きました。高齢の方にもやさしい配慮です。



●お子様に合わせたリアシートデザイン

N-BOXリアシートの2トーンデザインは、6歳児の体格に合わせて開発しました。お子様が“自分の席”と感じられ、新型N-BOXに乗ることが楽しくなるよう願った、ささやかな工夫です。



●おもちゃが見えるサイドポケット
リアルーム右側のサイドポケットは、落下防止のサポートフェンスにあえて開口を設けました。そこに入れたおもちゃなどが見えることで、お子様に安心いただこうというちょっとした配慮です。



●パワースライドドア予約ロック機能

パワースライドドアに、Honda軽自動車として初めて予約ロック機能を採用しました。あらかじめ施錠操作をすることで、パワースライドドアの全閉後に自動で施錠。施錠が完了すると、通知音とハザード点滅でお知らせします。ドアが閉まるのを車両近くで待つ必要がなく便利です。



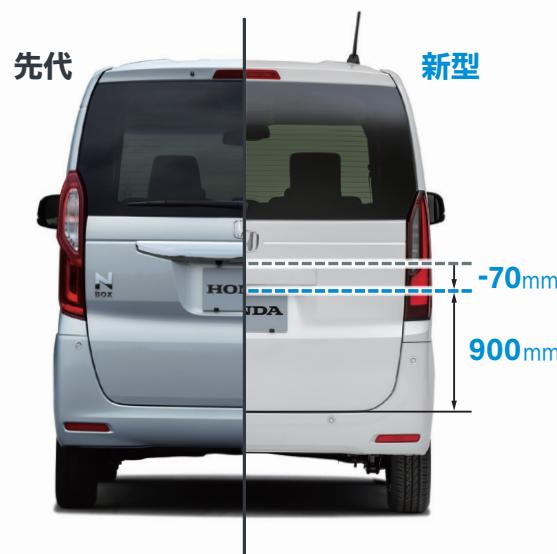
N-BOXの特長 リアシート

多彩な使い方を可能にするリアシートは、初代から受け継ぐN-BOXの大きな特長。座面をチップアップしてもうひとつの荷室にしたり、背もたれをダイブダウンして広大な荷室をつくり、シーンに応じて便利にお使いいただけます。

毎日を、ラクに楽しく豊かに彩る工夫と配慮。

■見つけやすく開け閉めしやすいテールゲートハンドル

テールゲートハンドルを中央に配置し直感的に見つけられるようにしました。また、先代モデルに対し70mm(スロープ仕様車は25mm)低くすることで、ハンドルからテールゲート下端までの長さを短くし、開ける際にユーザー自身の身体に当たりにくくしました。



■自転車の積載をより便利に

「予期せぬ雨などで、自転車で出かけたお子様を迎える際に、自転車を簡単に積み降ろしできれば喜ばれるに違いない」。初代から大切にしてきた自転車の積載性をさらに進化させました。低い荷室と広い開口を継承しながら、前輪の通しやすさやスタンドを立てた後の安定性にまで配慮しています。



●前輪を通しやすいフロア形状
スライドボードの一部をくぼませることで自転車の前輪を通しやすくしました。



●自転車積載時の安定性向上
スライドボードの形状を工夫し、自転車の両立スタンドを立てた際、スタンド2点と後輪の計3点を接地*させることで安定性を高めました。



■遊び心いっぱいの隠れN

「N」のマークや車両のシルエットを内外に隠し入れました。すぐに見つかるシルエットから、どこかを操作して初めて現れる「N」マークまで、隠し場所はさまざまです。



隠れNの例 (N-BOX)

走りやすさ

みんなのファーストカーにふさわしい、
扱いやすく爽快な走り。



クラストップレベル^{※1}の力強い走りと優れた燃費を誇りながら、さらに扱いやすい特性へ。

初代N-BOXエンジンは、普通車開発やレースで培った技術を投入して開発され、それまでの軽自動車の枠を超える力強さとなめらかさを実現しました。2代目となる先代モデルでは、高度な動弁機構VTEC^{※2}や電動ウェイストゲートを軽自動車として初めて採用^{※3}し、クラストップレベル^{※1}の

自然吸気エンジン

吸気バルブの制御にVTECとVTC^{※4}を採用したエンジン。高い吸排気効率と、シーンに適したバルブ制御で、低速から高速まで爽快な加速と優れた燃費性能を両立させています。

最高出力	43kW [58PS]	/ 7,300rpm
最大トルク	65N·m [6.6kgf·m]	/ 4,800rpm
燃費	21.6km/L	WLTCモード

N-BOXの特長 VTEC

バルブの開閉タイミングのみならずリフト量まで変えられるVTECは、軽自動車でNシリーズのみが搭載^{※5}する高度な動弁機構。状況に適した吸気コントロールでクラストップの走り^{※6}と優れた燃費を両立させています。



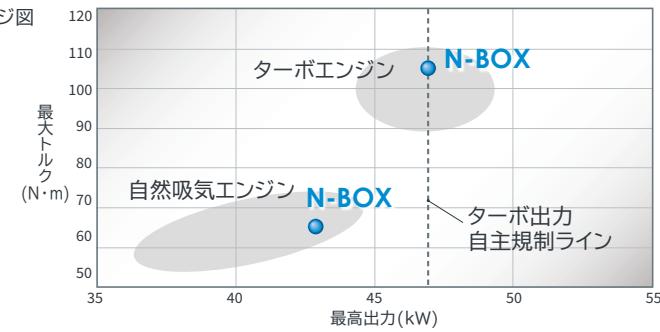
力強い走りと優れた燃費を両立させました。新型N-BOXでは、基本性能に優れたパワートレーンを継承し、スペックには表れない細部まで制御を見直すことで、先代モデル以上に上質で扱いやすい特性を実現しました。

ターボエンジン

過給に用いる排気圧をきめ細かく調整できる電動ウェイストゲートを搭載し、なめらかな走りと優れた燃費を提供します。

最高出力	47kW [64PS]	/ 6,000rpm
最大トルク	104N·m [10.6kgf·m]	/ 2,600rpm
燃費	20.3km/L	WLTCモード

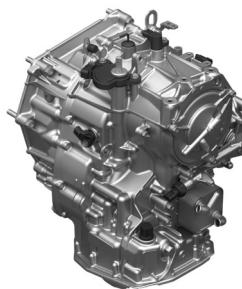
●性能比較イメージ図



※1 軽スーパーハイワゴンクラスにおいて。2023年10月現在。Honda調べ。※2 「Variable valve Timing and lift Electronic Control system」の略。可変バルバタイミング・リフト機構。自然吸気エンジンに採用。※3 2017年8月時点。Honda調べ。※4 「Variable Timing Control」の略。連続可変バルバタイミング・コントロール機構。※5 2023年10月現在。Honda調べ。※6 軽スーパーハイワゴンクラスの自然吸気エンジン車において。最高出力・最大トルクの比較。2023年10月現在。Honda調べ。

CVT

2系統吐出オイルポンプシステムなどにより、高効率な油圧制御を実現したCVTを継承。無段変速機ならではのスムーズな走りを実現しながら、燃費向上にも大きく貢献します。新型N-BOXでは、変速制御をすみずみまで見直し、ドライバーの意図しないわずかなG(加速度)変化まで抑制。これまで以上に上質な走りを実現しました。



■ 雜味のない上質な走り

アクセルオフ(フューエルカット)時のわずかなトルク変動から、駐車時アイドリングストップのふるまいまで、乗る人の違和感や不安感につながる要素を徹底的に取り除き、上質な走りを実現しました。

制御

<主な適用技術:エンジン>

●アイドリングストップ領域の拡大

Pレンジでのアイドリングストップを追加しました。アイドリングストップでの停止状態からPレンジに移行した際、エンジンを再始動させることなく静かに駐車することができます。

<主な適用技術:CVT>

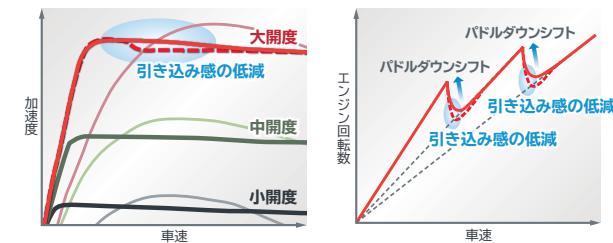
●突き出し感の低減

キックダウン時の応答性を損ねることなく突き出し感を低減。MTライクな有段変速が楽しめるパドルシフト[※]では、アップシフト時の応答性を適正化しスムーズな変速フィールを実現しました。



●引き込み感の低減

キックダウン後の応答性を適正化することで引き込み感を低減し、加速のリニア感を向上。パドルシフトによるダウンシフトでは、優れた応答性とスムーズな変速フィールを実現しました。



●CVTならではのスムーズ感の向上

Sレンジ走行時のアップシフトタイミングを変更し、加速後のエンジン回転数の高止まりを抑制することでスムーズ感を向上させました。また、登降坂の勾配推定精度を高め、変速マップの切り替えを適正化することで、勾配変化に応じたスムーズな変速を実現しました。

さらなる安心と快適を提供するために、軽量・高剛性ボディーをブラッシュアップ。

N-BOXは多くのお客様にファーストカーとしてご愛用いただいている。新型N-BOXでは、毎日のお買い物から週末の長距離ドライブまであらゆるシーンで、これまで以上の安心と快適を感じて

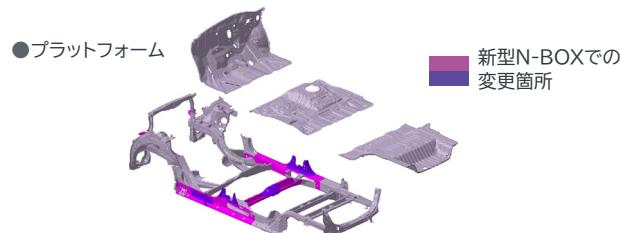
いただきたいと考えました。そこで、先代ゆずりの軽量・高剛性プラットフォームをベースに、衝突安全性能や高速走行時の静粛性向上を図り、ファーストカーとしての資質をさらに高めました。

■安全・安心・快適を追求した高効率ボディー

衝突安全性能を高めながら、先代モデル同等の重量で高い剛性と剛性バランスを実現。N-BOXならではの操縦安定性と乗り心地で安心感のある走りを支えます。

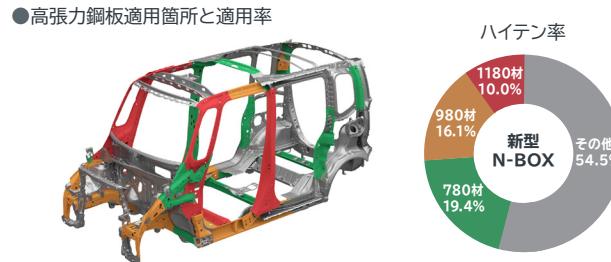
●側面衝突安全性の向上

サイドシルに超高張力鋼板材を適用したほか、ロアクロスマンバーの構造変更や締結強度の向上などにより、側面衝突時の安全性を高めました。



●剛性・剛性バランスの最適化

強度を高めながら薄板化が可能な高張力鋼板をより効率的に適用。先代モデルで軽乗用車として初めて採用したシーム溶接※と高粘度の構造用接着剤を踏襲しました。数値で表せる剛性のみならず、剛性“感”にまで踏み込んで磨き上げることで、乗る人に安心をもたらすボディーを追求しました。



■高速クルーズ時も会話がはずむ静かな室内

静粛性が高く評価される先代モデルの防音技術をベースに、フロアカーペットに遮音フィルムを追加しロードノイズを低減。ルーフライニングもさらに厚くしました。N-BOX CUSTOMは、ルーフライニングに吸音シートを採用し、さらなる静粙性を実現。高速クルーズ時も前席と後席でストレスなく会話ができるよう進化させました。



●クルーズ静粙性 前席



●クルーズ静粙性 後席

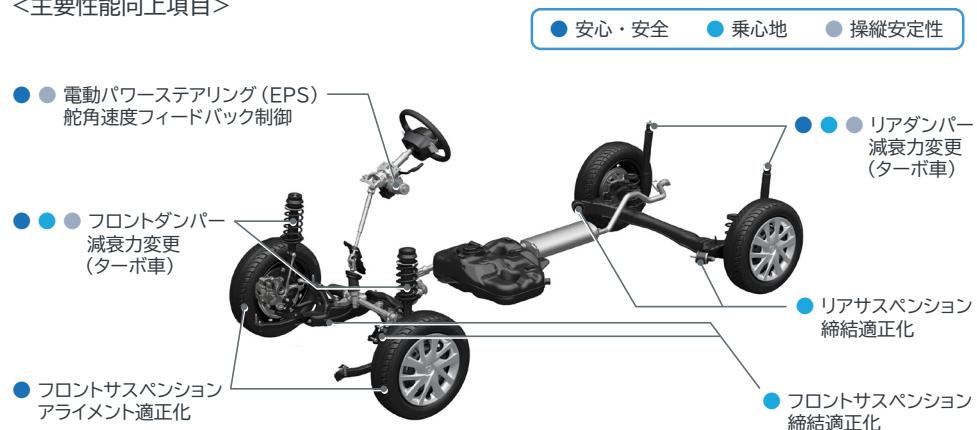


※ ローラー状の電極で連続的に接合する溶接法。

乗る人の気持ちに寄り添った扱いやすさと快適さ。

新型N-BOXでは、乗り心地のよさや高速走行時の安定性が高く評価されるシャシーをベースに、乗り心地、直進安定性、ステアフィールを向上させることで、これまで以上の安心感と扱いやすさを実現しました。

<主要性能向上項目>



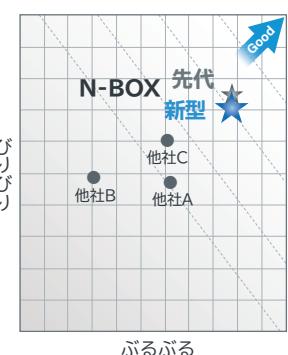
段差などの大きな入力
(ハーシュネス)



路面のうねりなどの中入力
(フラットライド)



路面のざらつきなどの小入力
(スムースライド)



Honda CONNECT

新世代コネクテッド技術で
つながるひろがるカーライフ。

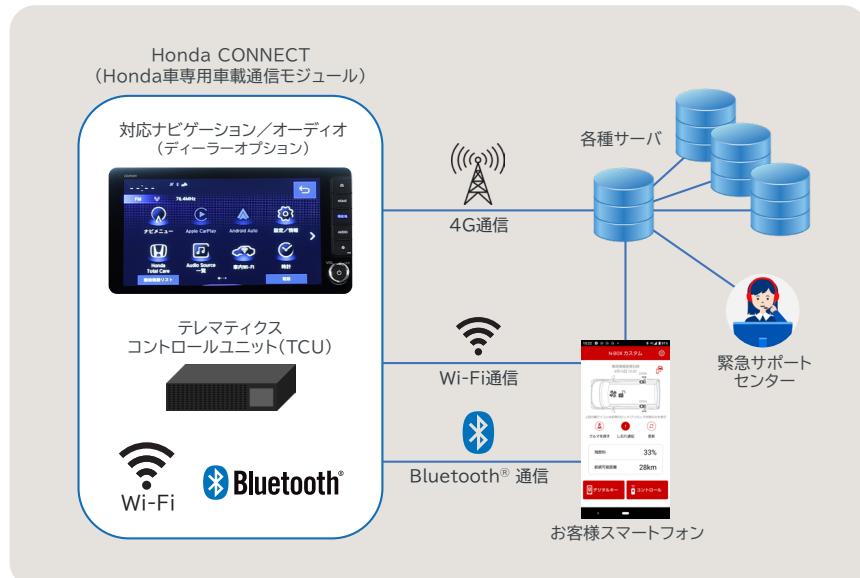


新世代コネクテッド技術「Honda CONNECT」が実現する安心・快適なカーライフサポートサービス「Honda Total Care プレミアム」。

Hondaの軽自動車として初めて、車載通信モジュール「Honda CONNECT」を搭載。対応するナビとオーディオをディーラーオプションでご用意しました。ボタンひとつでオペレーターが対応する「緊急サポートセンター」、車内でゲーム機やタブレットなどを使える車内Wi-Fiなど、

■システム概要

Honda CONNECTは、3つの無線規格に対応する車載通信モジュール。お客様のクルマのデータを送受信し、それらを活用することで安心・快適なカーライフに役立つさまざまなサービスを実現します。



「Honda Total Care プレミアム」が提供する充実したサービスをご利用いただけます。新型N-BOXでは、スマートフォンでドアロック解除などができる「Honda デジタルキー」に、Hondaとして初めてパワースライドドアの操作を採用しました。

■Honda Total Care プレミアム サービス一覧

- スマホでクルマの操作や確認ができる
Hondaリモート操作※1
 - エアコン操作
 - スライドドア操作
 - クルマを探す
 - し忘れ通知・操作
- ボタン一つでオペレーターが対応
緊急サポートセンター
- スマホがクルマのキーになる
Hondaデジタルキー※1※2
- あたらしい地図に自動で更新
自動地図更新サービス※3※4
- クルマをWi-Fiスポットに
車内Wi-Fi
- 盗難・いたずらに迅速対処
Honda ALSOク駆けつけサービス

Honda Total Care プレミアム

「Honda Total Care」へのご加入、および
「Honda Total Care プレミアム」へお申込
いただくとご利用いただけます。



■対応ナビゲーション／オーディオ(ディーラーオプション)



- N-BOX専用 9インチ
Honda CONNECTナビ
多彩な機能をフル搭載した
大画面ナビ。
- 8インチ Honda CONNECTナビ
ナビとして必要十分な機能を備えたスタンダードモデル。
- 8インチ ディスプレイオーディオ
(Honda CONNECT対応)
スマートフォンを車載ディスプレーで利用したい方へ向けたモデル。

※1 「Hondaリモート操作アプリ」のダウンロードが別途必要となります。※2 本サービス利用中であっても、インターネット通信圧外やスマートフォンの充電残量がなくなった場合などは機能利用ができない場合がありますので、Hondaスマートキーを常に携帯してください。※3 「Honda CONNECTナビ」装着車のみご利用いただけます。※4 「Honda Total Care プレミアム」基本パック解約時は、工場出荷時の地図に戻ります。

安全

道を使うみんなの
安全をめざして。



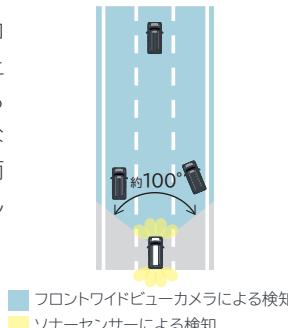
さらに進化したHonda SENSINGを標準装備。

Honda SENSINGは、「事故に遭わない社会」をめざして機能・性能を進化させてきたHondaの先進運転支援システム。新型N-BOXでは、広角カメラと高速画像処理チップを用いたシステムを採用し、これまで以上の安心・安全を追求しました。先代モデルに対し「近距離衝突軽減ブレーキ」や

■システム概要

新型N-BOXが搭載するシステムは、約100°の有効水平画角を持つフロントワイドビューカメラと高速画像処理チップにより、従来システム以上の広い範囲と高い精度で対象物を検知します。一般道で歩行者が横から車道に侵入した場合や、高速道路で他車が自車前方に割り込んだ場合など、いち早い検知と制御で安心感のある運転支援を行います。また、車両前後のソナーセンサーは、「踏み間違い衝突軽減システム」などを実現しています。

●検知範囲イメージ図



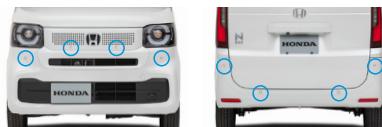
●フロントワイドビューカメラ

約100°の有効水平画角と高い解像度で対象物をいち早く検知します。



●ソナーセンサー

音波の反射を利用しガラスや外壁など非金属物も高い精度で検知。車両前部にソナーセンサーを追加し「踏み間違い衝突軽減システム」を実現。



「急アクセル抑制機能」※を追加したうえ、高速クルーズでは熟練ドライバーさながらのスムーズな加減速と操舵で運転をアシストするよう進化。市街地から高速道路まで、さまざまなシーンで安心をもたらします。

■ドライバーの感覚にマッチした自然な運転支援

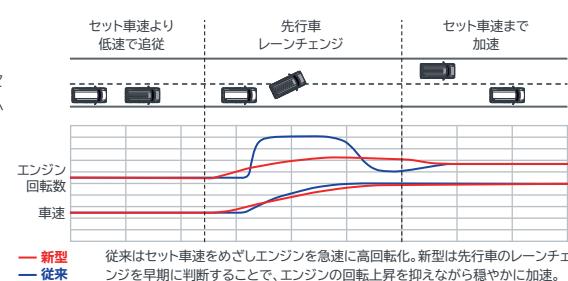
優れた検知性能と画像処理能力を活かし、アクセル、ブレーキ、ステアリングの制御を新型N-BOXに合わせて進化させました。高速クルージングでは、先行車の減速や離脱、カーブに対してより早く制御することで、ゆるやかな加減速となめらかな操舵を実現。熟練ドライバーさながらの運転支援を行います。

●ドライバーの感覚にマッチした加減速支援

[渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)]

先行車の挙動をいち早く判断し、穏やかなアクセル操作となめらかなブレーキ操作を実現。安心感のあるクルーズ走行を支援します。

●先行車離脱時の自車加速イメージ

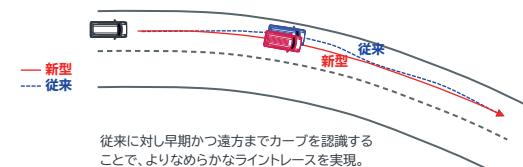


●自然でなめらかな操舵支援

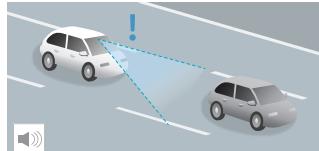
[車線維持支援システム(LKAS)]

より遠くのカーブ曲率を認識してステアリング操作をアシスト。なめらかで安心感のあるコーナリングを支援します。補正制御を備え、路面の傾きや横風などの外乱を受けた場合にも、車線の中央を走行できるよう支援します。

●コーナリング時の補正イメージ

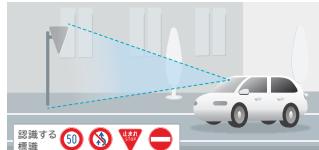


衝突軽減ブレーキ (CMBS)



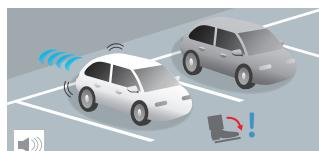
車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車を検知し、衝突の危険がある場合に音とマルチインフォメーション・ディスプレーの表示で警告します。衝突の危険が継続しているとシステムが判断した時は、強いブレーキをかけて、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。

標識認識機能



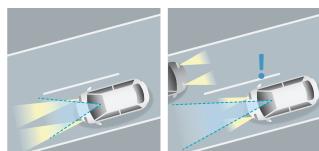
走行中に道路標識を認識してマルチインフォメーション・ディスプレーに表示します。速度を超過した場合はマルチインフォメーション・ディスプレーの表示を一定時間点滅させ安全運転を支援します。

後方誤発進抑制機能^{※1}



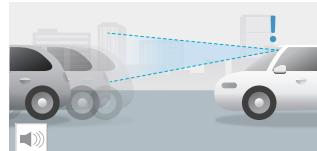
後方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、エンジン出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレーの表示で警告します。

オートハイビーム



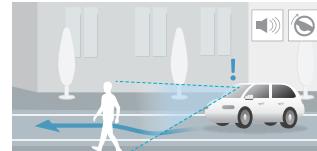
先行車や、対向車を検知してハイ/ロービームを自動で切り替えます。良好な視界の確保を支援するとともに、切り替え操作の頻度も低減します。

先行車発進お知らせ機能



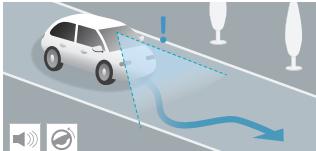
先行車が発進したことを、音とマルチインフォメーション・ディスプレーの表示でお知らせします。

歩行者事故低減ステアリング



走行中に車線を外れ、路側帯の歩行者と衝突しそうな際、音とマルチインフォメーション・ディスプレーの表示で警告します。ステアリングも制御して回避操作を支援します。

路外逸脱抑制機能



車線や草、砂利などの道路境界をはみ出しそうな際や対向車への接近時に車線をはみ出しそうな際、逸脱を防ぐようステアリングを制御して回避操作を支援するとともに、マルチインフォメーション・ディスプレーと音で警告します。

車線維持支援システム (LKAS)



先行車がいない場合は設定した車速を自動で維持し、先行車がいる場合は自動で加減速し、適切な車間距離を保つよう支援します。先行車が停車すれば合わせて停車する渋滞追従機能も付いています。

誤発進抑制機能^{※1}



前方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、エンジン出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレーの表示で警告します。

急アクセル抑制機能^{※2}



システムがアクセルペダル開度と踏み込み速度から急アクセルを判断した時は、加速を抑制し、音とマルチインフォメーション・ディスプレーの表示で警告します。

パーキングセンサーシステム^{※3}



クルマの前／後、斜め前／斜め後ろからの障害物の接近を、音と表示でお知らせ。細い路地を走る時や駐車時などでも安心です。

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。

車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとシステムが判断したとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■路外逸脱抑制機能は、約30km/h以上で走行中、システムが路外への逸脱を予測したときに作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとシステムが判断したとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、メーターに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、先行車がいる場合、停車中から作動し、先行車がいる場合は、約30km/h以上で走行中に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行中、自車のほぼ真正面の近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、エンジン出力を抑制し、急な発進を防止します。■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退中、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、エンジン出力を抑制し、急な後退を防止します。■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h～約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■急アクセル抑制機能は、停止中や約30km/h以下で走行中に、踏み間違いと思われる急なアクセルペダル操作であるとシステムが判断したときエンジン出力を抑制し、急な加速を抑制します。交差点や本線への合流など、加速が必要な状況を想定した、ウインカー操作中と解除後約2秒間、アクセルペダルを大きく踏み込むことが想定される登坂路、加速のためのブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み換え直後約2秒間は作動しません。■パーキングセンサーシステムは、車両や周囲の状況によりシステムが正しく作動しない場合があります。システム使用時も直接目視で周辺の安全確認を行なうながら運転してください。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。

※1 「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。

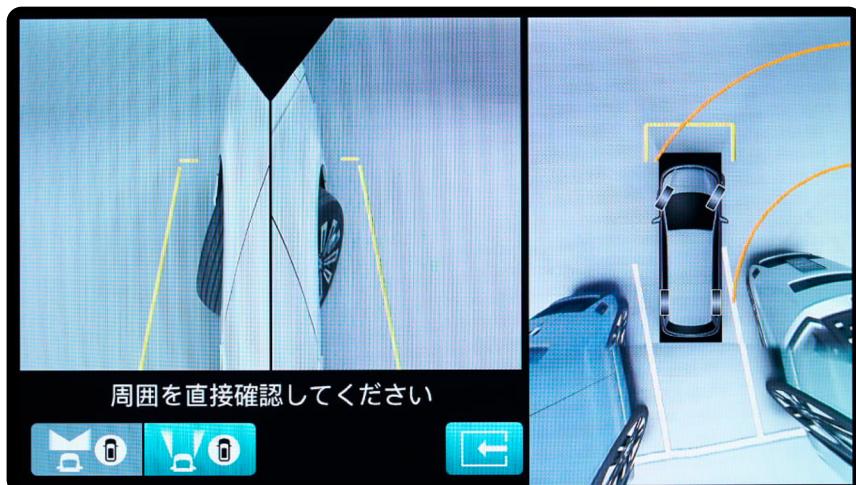
※2 工場出荷時は機能オフの設定です。オンにするには別途販売会社の専用機器によるセッティング作業が必要です。別途セットアップ費用(ディーラーオプション)が必要となります。

※3 ナビ画面上に表示するには、対応するナビゲーションが必要となります。

■イラストは機能説明のためのイメージ図です。

■マルチビューカメラシステム

Hondaの軽自動車として初めてマルチビューカメラシステムを採用しました。フロントグリル、左右ドアミラー、テールゲートに備えた4つの魚眼CMOSカメラで車両の周囲を撮影。これらの高精細なデジタルカメラ映像を合成し、ステアリング舵角から算出したガイド線などを加えてディスプレーに表示します。後退駐車時はもちろん、見通しの悪い交差点に進入する場合や、狭い路地で対向車とすれ違う場合などに確認を補助し、安心感を高めます。

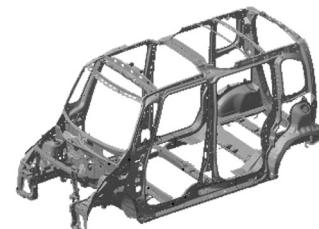


■リアルワールドを見据えた衝突安全性能

新型N-BOXでは、先代モデルの優れた衝突安全性能をベースに、リアルワールドにおける乗員保護性能・歩行者保護性能のさらなる向上をめざし、主に側面衝突への対応を強化しました。Honda SENSINGとともに、お客様の安心・安全をサポートします。

●前面衝突対応技術

相手車両との骨格のすれ違いを防止しながら、衝突エネルギーを、フロア、サイドシル、フロントピラーへ効率的に分散・吸収し生存空間を確保。運転席には拘束力の高いアウターラップブリテンショナーシートベルトを採用。



●後面衝突対応技術

衝撃をリアサイドフレームで吸収しながらサイドシルへ荷重を伝達し生存空間を確保。



●側面衝突対応技術

サイドシルへの超高張力鋼板材の適用やロアクロスマンバーの構造変更などにより、側面衝突エネルギーの吸収・分散をより効率化。フロントドアにHondaの軽自動車初となる圧力センサーを装備し、エアバッグの早期展開を実現。



■歩行者保護



介護はもちろん、普段使いにも趣味にも便利なスロープ仕様車。

車いすをお使いの方も介護する方も、毎日、「幸せな生活リズム」で過ごしていただけるよう、車いすのまま乗り降りできるスロープ仕様車を、N-BOX/N-BOX CUSTOMともにご用意しました。「4人乗車モード」と「車いす乗車モード」の切り替えが簡単にできるうえ、進路補正機能付きの電動ウインチや、両手で車いすのグリップを支えながらウインチ操作を可能にするリモコンカバー



■簡単に「車いす乗車モード」へチェンジ

わずか3アクションで「4人乗車モード」から「車いす乗車モード」への切り替えが可能。介護する方の負担を減らし、車いすの方も気兼ねなくお出かけできます。

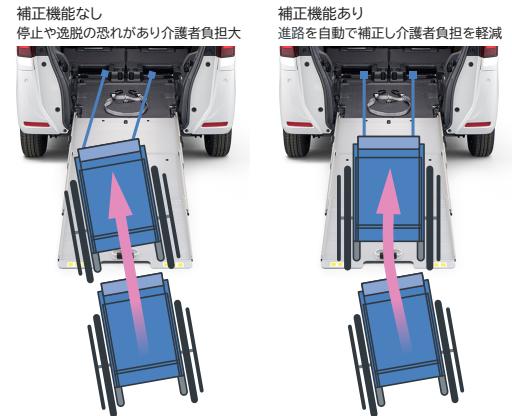


など、使う方の身になって開発した工夫がいっぱい。車いすの方も介護する方も安心してお使いいただけます。スロープがフラットに収納できるため、N-BOXならではの広い荷室を普段使いや趣味に生かすことも、もちろん可能。まとめ買いの荷物も、趣味に使う重たい道具も、スロープやウインチでラクに積み降ろしできます。

■安心して使える速度調整・進路補正機能付電動ウインチ

ベルトで車いすを引き上げる電動ウインチは、速度調整・進路補正機能を搭載。ななめに進入した場合にも、左右のベルト巻き取り速度を自動で調整し、車いすがまっすぐスロープを上れるよう補正します。

●進路補正機能説明イメージ図



■車いすを両手で押しながら安心操作

電動ウインチのリモコンは、車いすのグリップに固定できるベルト付カバーと合わせてご用意。両手でグリップを支えながら安定したウインチ操作が行えます。

●電動ウインチ用リモコン & カバー(ベルト付)



●リモコンカバー説明図



主要装備

●は標準装備 ○はメーカーオプション

タイプ	N-BOX		スロープ	N-BOX CUSTOM		コーディネートスタイル		ターボ	コーディネートスタイル		スロープ	
	ファッショングスタイル	スロープ		モントーン	2トーン	モントーン	2トーン		モントーン	2トーン		
駆動方式	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
Honda SENSING (衝突軽減ブレーキ(CMBS)、先行車発進お知らせ機能、歩行者事故低減ストップアンドゴー機能、路外脱走抑制機能、標識認識機能、渋滞走行機能付アラートブレーキコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)、オートハイビーム、誤発進抑制機能 ^① 、後方誤進抑制機能 ^① 、近距離衝突軽減ブレーキ ^① 、バギングセンサーシステム ^②)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
急アクセル抑制機能	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	●	※3	※3	※3	
マルチビューカメラシステム					※4							
プロジェクタータイプフルLEDヘッドライト (ディレイランプ/ランプグリップ付)(ミュアルレベル/オートハイコントロール機能付)	●	●	●									
ダイレクトプロジェクトランプグリップ付フルLEDヘッドライト (ディレイランプ/ランプグリップ付)(ミュアルレベル/オートハイコントロール機能付)			●	●	●	●	●	●	●	●	●	
リア3点式ロードミッタ付ブリテンショナー	●	●		●	●	●	●	●	●	●		
リア3点式ELRシートベルト				●							●	
【全タイプ標準装備】●運転席用&助手席用i-SRSアバッゲシステム ●前席用i-サイドエアバッゲシステム+サイドカーテンエアバッゲシステム(前席/後席対応) ●VSA(ABS+TCS+横すべり抑制) ●EBD(電子制動力分配システム)付ABS ●LEDハイマウント・ストップランプ ●エマージェンシーストップブレーキ ●ヒルスタートアシスト機能 ●ビズミー(サイドアーナーミラー)(助手席側、サイドビューカーポートミラー) ●頭部衝撃緩和フロントシート ●フロント3点式ロードミッタ付ブリテンショナーELRシートベルト+運転席ラップブリテンショナー ●ISO FIX/X-Sizeチャイルドシート下部取付金具 ●エマージェンシーストップブレーキ ●ヒルスタートアシスト ●アイドリングストップシステム ●ECONスイッチ ●エコアシスト(ECONモード、コーチング機能) ●キセキライザー(国土交通省認可品) ●セキュリティアラーム(国土交通省認可品) ●電子制御ブレーキングブレーキ ●オートブレーキホールド機能 ●全席シートベルト非着用警報(シートベルトリマインダー) ●熱線式リアウインドウデオフッガード ●サイドプロテクター ●チャイルドブループ ●室内離燃材												
Honda CONNECT for Gathers +ナビ装着用スペシャルパッケージ	4スピーカー	4スピーカー	4スピーカー	6スピーカー	6スピーカー	6スピーカー	6スピーカー	6スピーカー	6スピーカー	6スピーカー	6スピーカー	
運転席&助手席シートヒーター	○※5	○※5										
運転席シートヒヤスター	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
パワースライドドア (リージョナルドア/ハンドル、タッキンシナード/突込み防止機構付、リモコン&運転席スイッチ開閉式)	リア左側	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
リア右側	○※5	○※5		○※4※6	●	●	●	●	●	●	●	
アクセサリーケーブル(DC12V)	フロント	フロント	フロント/リア	フロント	フロント	フロント	フロント	フロント	フロント	フロント	フロント/リア	
【全タイプ標準装備】●フルオートエアコンディショナー ●7インチLCD液晶ディスプレイ(タイヤ角度モニター/オドメーター/リップルメーター/外気温/速度/タコメーター/平均燃費/瞬間燃費/平均車速/指定航続可能距離/経過時間/時計/カレンダー表示機能など) ●充電用USBジャック(Type-C(3A)) ^③ ●Hondaスマートキーシステム(キー2個付) ^④ ●ブリュンジースタート/ストップスイッチ ●粗歯フロント ●リアヒータードクト ●チルトステERING ●リバーウィンドウ(運転席のみ) ●キーフリーオペレーション機構付(助手席/リア左席) ●パワードアロック ●スライドドア/サイドカーポート(リア両側) ●電気式テールゲートオープニングスイッチ ●フロントウインカーランプ ●ヘッドランプオートオフ機能 ●予約ロック ^⑤ ●降車時オートドアロック機能 ●電動パワーステアリング ●ライト消し忘れ警報ブザー ●リアシートリマインダー ●燃料残量表示灯 ●3段階開閉フロントドア												
トリコットシート	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
プライムスムーストリコット(エスード調) コンビシート	グレージュグレー	グレージュグレー	グレージュグレー	グレージュグレー	ブラック							
フルプライムスムースシート ^⑩												
チップアッパー＆ダブルランジ機構付スライドアシート(5:5分割式/リクライニング機構付、コンビニフック付)	●	●		●	●	●	●	●	●	●		
ダイレクトエンジンオイルアシート (5:5分割式/リクライニング機構付)				●							●	
左右独立式リアセンターアームレスト	○※5	○※5			●	●	●	●	●	●		
インバータードライバー(助手席側)	コルクカラー	コルクカラー	コルクカラー	ストーンカラー	ストーンカラー	ストーンカラー	ストーンカラー	ストーンカラー	ストーンカラー	ストーンカラー	ストーンカラー	
シルバー塗装エアコンスイッチパネルガーニッシュ				●	●	●	●	●	●	●		
クロームメタルキルヌ (インテリアハンドル/プロトリム、セレクトレバーボタン&カバー、エココンパクトトリム&ルーバー、エアコンアコントレットダブルリング)				●	●	●	●	●	●	●		
ドアオーナメントパネル				●	●	●	●	●	●	●		
ドアライニングアームレスト (表皮付)	トリコット			●								
プライムスムース				グレーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ		
本革巻ステアリングホイール				グレーステッチ	グレーステッチ	ペリーネーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ	グレーステッチ		
ピアノブラック調ステアリングガーニッシュ				●	●	●	●	●	●	●		
インテリアイルミネーション (インテリーアシスト(助手席側)/ドリンクホルダー(運転席)/フット(運転席/助手席))				●	●	●	●	●	●	●		
リアルームランプ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
バックドアランプ				●	●	●	●	●	●	●		
フロントシートアームレスト(運転席)				●	●	●	●	●	●	●		

タイプ	N-BOX		スロープ	N-BOX CUSTOM		コーディネートスタイル		ターボ	コーディネートスタイル		スロープ	
	ファッショングスタイル	スロープ		モントーン	2トーン	モントーン	2トーン		モントーン	2トーン		
駆動方式	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
コンビニフック付シートパックテープル (運転席&助手席)	○※5	○※5		○※4※6	●	●	●	●	●	●		
助手席フロント	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コンビニフック					●	●	●					
リアルーム左側	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
ドリンクホルダー付サイドポケット(リア左席)	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
ステップガーニッシュボトルホルダー(リア左席)				●								
ドリンクホルダー(リア左席)					●	●	●					
サイドドレーリング(リア左側)						●	●					
サイドポケット(リア右側)						●	●					
タイダウントラック(4ヵ所)						●	●					
スロープ専用装備 (スパーカーブレーキスロープ、電動ドライバー(速度調整・送替補正機能付)、ワイヤレスリモコン取扱説明書) (2段階)、電動ドライバー用(モード&カット) (ボトル付)、車いす用装備用3段式ELR(シートベルト)											●	
【全タイプ標準装備】●ロールサンシェード(サイドドア両側) ●フロントマップランプ ●ルームランプ ●グラブレール(運転席/助手席/リア左右席) ●フロントベンチシート ●シートバックパケット(助手席側) ●センターロードボックス ●運転席&助手席ドアロードボケット(ボトルホルダー付) ●ドリンクホルダー(運転席/助手席) ●オーディオガーニッシュ ●ピニタードライバー付サインライター(運転席/助手席付) ●センターピラー(グリップ) (左) ●グローブボックス ●ドライバーズロードボック ●ダブルボケット(運転席/助手席)												
電動格納式リモコンドアミラー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
オートリトラミラー	○※5	○※5		●	●	●	●	●	●	●		
シーケンシャルターンシグナルランプ												
フルLEDリアランビネーションランプ	●	●		●	●	●	●	●	●	●		
ライセンスランプ	●LED	●LED		●LED	●LED	●LED	●LED	●LED	●LED	●LED		
アウタードアハンドル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カラード	オフホワイト	カラード	クロームメッキ	ダーツクロームメッキ	ダーツクロームメッキ	クロームメッキ	ダーツクロームメッキ	クロームメッキ	ダーツクロームメッキ	クロームメッキ		
カスタムデザインフロントグリル				●	●	●	●	●	●	●		
カスタムデザインインポアーグリル(フロント)				●	●	●	●	●	●	●		
フロントアクセサリーレッド				●	●	●	●	●	●	●		
カラードサイドシルガーニッシュ				●	●	●	●	●	●	●		
リアライセンスガーニッシュ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
テールゲートスピーラー				●	●	●	●	●	●	●		
ルーフ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カラード	カラード	カラード	カラード	カラード	カラード	カラード	カラード	カラード	カラード	カラード		
カスタムデザインインパビンバー				●	●	●	●	●	●	●		
スロープ専用リバンバー											●	
フロントワイパー (ミスト機構付) 車速連動間欠/パワーアップ間欠	●	●	●									
カラードパッケージアンドハンドル												
N-BOXエンブレム	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ		
CUSTOMエンブレム	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ	クロームメッキ		
【全タイプ標準装備】●LEDアラームイーター ^④ ●360°スパーUV-IRカットパッケージ(IRカット(遮熱)/UVカット機能付フロントウインドウガラス、IRカット(遮熱)/スパーUVカット(遮熱)/スパーUVカット(遮熱)/スリーブアンドリードア/フロントドア) ●IRカット(遮熱)/スパーUVカット(遮熱)/スリーブアンドリードア(フロントドア) ●ドアサッシュブロックアットワード ●ウォッシャー付間欠アライワパー(リバース連動) ●フロントウインドウウオウゾンジャーブレーキ ^⑤ ●ヒートドードアミラー[4WD車]												
14インチスチールホイール +スチールラジアルタイヤ+フルホイールキャップ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
14インチアルミホイール +スチールラジアルタイヤ												
15インチアルミホイール +スチールラジアルタイヤ パドルシフト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
【全タイプ標準装備】●応急パンク修理キット(スペアタイヤレス) ^⑫ ●フロントベンチレーテッドディスクブレーキ ●フロントスタビライザー ●リアスタビライザー[FF車]												

メーカーオプション コンフォートパッケージ (N-BOX、N-BOX ファッショングスタイル)
●運転席&助手席シートヒーター ●リア右側パワースライドドア/ハンドル、タッチセンサー/扶み込み防止機構付ドア/リモコン&運転席スイッチ開閉式
●左右独立式リアセーターアームレスト ●コンビニフック付シートパックテープル(運転席&助手席)
●パドルシフト
●パドルシフト

【全タイプ標準装備】●応急パンク修理キット(スペアタイヤレス)^⑫ ●フロントベンチレーテッドディスクブレーキ ●フロントスタビライザー[FF車]

より快適に過ごせる装備をセットでご用意しました。

※1 「前輪駆動抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「組み合わせて衝突軽減システム」と呼びます。※2 工場出荷時機構付オプションです。オノリスには運転席会社専用機器によるセッティング作業が必要です。別途セッティングオプション(運転席&助手席)が必要となります。※3 「マイチビーオーナーブランチーム」を装着した場合、「マイチビードアドア(アラーム)」「コンビニフック付サイドパッケージ(ドア/ドア/ドア)」「マイチビーオーナーブランチーム」、「左右独立式リアセーターアームレスト」「フロントウインドウウオウゾンジャーブレーキ^⑤」「ドリンクホルダー(アラーム)」「マイチビーオーナーブランチーム」「ドリンクホルダー(アラーム)」「マイチビーオーナーブランチーム」「ドリンクホルダー(アラーム)」が1台追加されます。※4 Hondaスマートキーシステムは、施錠/解錠のときなどに電波を発信します。その際、植込み型心臓ペースメーカー等の医療電子機器に影響を与える可能性があります。※5 予約コードはワーストライドアが装備されている場合に使用できます。※6 「マイチビーオーナーブランチーム」、「ドリンクホルダー(アラーム)」「マイチビーオーナーブランチーム」「ドリンクホルダー(アラーム)」「マイチビーオーナーブランチーム」「ドリンクホルダー(アラーム)」が1台追加されます。※7 「マイチビーオーナーブランチーム」「ドリンクホルダー(アラーム)」「マイチビーオーナーブランチーム」「ドリンクホルダー(アラーム)」「マイチビーオーナーブランチーム」「ドリンクホルダー(アラーム)」が1台追加されます。※8 Hondaスマートキーシステムは、施錠/解錠のときなどに電波を発信します。その際、植込み型心臓ペースメーカー等の医療電子機器に影響を与える可能性があります。※9 予約コードはワーストライドアが装備されている場合に使用できます。※10 「フルプライムスムースシート」は一部ファブリックを使用しています。※11 「パワースライドドア(アラーム)」「コンビニフック付シートパックテープル(運転席&助手席)」は装備していません。※12 工具(ジャッキ/ジャッキハンドルバー/ホイールナットレンチ(兼ジャッキハンドル))は装備していません。

主要諸元

タイプ	駆動方式	N-BOX	スロープ	N-BOX CUSTOM	ターボ	スロープ					
車名・型式	FF 4WD	ホンダ6BA-JF5★ ホンダ6BA-JF6★	ホンダ6BA-JF5★ ホンダ6BA-JF6★	ホンダ6BA-JF5★ ホンダ6BA-JF6★	ホンダ6BA-JF5★ ホンダ6BA-JF6★	ホンダ6BA-JF5★ ホンダ6BA-JF6★					
トランクミッション		無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)※									
寸法											
全長(m)/全幅(m)											
全高(m)		3.395/1.475									
4WD		FF 1.790									
4WD		4WD 1.815									
ホイールベース(m)											
前		2.520									
後		1.305									
乗車定員											
最低地上高(m)		0.145									
車両重量(kg)		FF 910	960	920	940	960					
4WD		980	1,020	980	1,000	1,030					
乗車定員(名)											
長さ		4									
客室内寸法(m)		2.125	1.830	2.125	1.830						
幅/高さ		1.350/1.400									
エンジン											
エンジン型式/エンジン種類・シリンダー数及び配置		S07B/水冷直列3気筒横置									
弁機構		DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2									
総排気量(L)		0.658									
内径×行程(mm)		60.0×77.6									
圧縮比		12.0									
燃料供給装置形式		電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)									
使用燃料種類		無鉛レギュラーガソリン									
燃料タンク容量(L)		FF 27									
4WD		25									
性能											
最高出力(kW/PS)/rpm		43[58]/7,300									
最大トルク(N·m/kgf·m)/rpm		65[6.6]/4,800									
燃料消費率		FF km/L	21.6	21.1	21.5	20.3					
(国土交通省審査値)		4WD	19.4	19.1	19.4	18.4					
WLTC		市街地モード	FF km/L	18.8	18.5	18.8					
		WLTC-L	4WD	17.2	16.9	17.2					
郊外モード		FF	23.4	22.7	23.3	22.2					
(WLTC-M)		km/L	20.6	20.2	20.6	19.8					
高速道路モード		FF	21.8	21.3	21.7	20.9					
(WLTC-H)		km/L	19.7	19.4	19.7	19.0					
燃料消費率(国土交通省審査値)		FF km/L	26.1	25.9	26.1	24.5					
JC08		4WD	23.6	23.4	23.6	21.9					
動力伝達走行装置											
主要燃費向上対策		アイドリングストップ/可変バルブタイミング/自動無段変速機(CVT)/電動パワーステアリング									
最小回転半径(m)		FF 4WD	4.5	4.8	4.7	4.5					
変速比											
前進		3.680~0.674									
後退		3.152~0.577 (マニュアルモード付)									
減速比		FF 4WD	2.958~1.620	2.958~1.532	2.958~1.620						
4WD		FF	4.318	4.619	4.318						
減速比		前	前4.318 後2.533	前4.619 後2.533	前4.318 後2.533						
ステアリング装置形式											
タイヤ		ラック・ビニオ式(電動パワーステアリング仕様)									
前		前155/65R14 75S									
後		165/55R14 75S									
主ブレーキの種類・形式											
前		油圧式ベンチレーテッドディスク									
後		油圧式リーディング・トレーリング									
サスペンション方式(前/後)											
4WD		マクファーソン式 / 車輪式									
FF		マクファーソン式 / ド・ティオブ式									
スタビライザー形式(前/後)											
4WD		トーション・バー式 / トーション・バー式									
FF		トーション・バー式 / トーション・バー式									

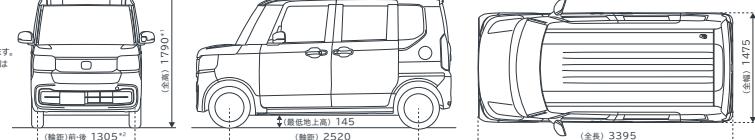
※ターボ車は、無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)＋パドルシフトとなります。

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

★印の車両は、自動車重量税の軽減措置が受けられ、2023年12月31日までの新車届出が対象となります。また、〇印の車両は、環境性能割が非課税となり、2023年12月31日までの新車届出が対象となります。

■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。 ■N-BOX、Honda SENSING、LKAS、PGM-FI、VSA、i-VTEC、INTER NAVI、ブライムスムーズ、Prime Smooth、エコアシストは本田技研工業株式会社の商標です。 ■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。 ■Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。 ■製造事業者:本田技研工業株式会社

寸法イメージ図



環境仕様



「2030年度
燃費基準
75%達成車」
N-BOX (FF)
N-BOX CUSTOM (FF)
N-BOX スロープ (FF)



「2030年度
燃費基準
70%達成車」
N-BOX (4WD)
N-BOX CUSTOM (4WD)
N-BOX スロープ (4WD)



「2030年度
燃費基準
65%達成車」
N-BOX CUSTOM スロープ(4WD)



「平成30年
排出ガス基準
75%低減レベル
認定車」
全タイプ



※このラベルはフロンターブルーンプロト
指定製品に使用されている冷
媒/プロトの環境影響度として用
いられている地球温暖化係数
(GWP)について、定められた目
標への達成度を表したもの

情報基 報種	車両型式 原動機 駆動装置	6BA-JF5		6BA-JF6	
		S07B/0.658		4WD/CVT	
	JC08	CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	26.1 89.0	CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	24.5 94.8
	参考	燃費(km/L)*2 市街地モード(WLTC-L) 郊外モード(WLTC-M) 高速道路モード(WLTC-H)	20.3 18.8 22.2 21.7 22.8 20.9	燃費(km/L)*2 市街地モード(WLTC-L) 郊外モード(WLTC-M) 高速道路モード(WLTC-H)	25.9 18.5 19.4 18.5 19.0 16.8
		CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	107.5 108.0	CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	98.4 106.0
環境性能 情報	適合規制/認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減			
	試験モード	WLTCモード			
排出ガス	CO 認定基準(単位:g/km) NOx	1.15 0.025 0.013			
	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)			
	適合騒音規制レベル	平成28年騒音規制 規制値:加速走行70dB(A)	平成28年騒音規制 規制値:加速走行72dB(A)	平成28年騒音規制 規制値:加速走行70dB(A)	平成28年騒音規制 規制値:加速走行72dB(A)
	エアコン 冷媒	HFO-1234yf/1*4 310g			

環境性能 情報	車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)	
	鉛	水銀	自工会2006年目標達成(1996年使用量*5の1/10)	自工会2005年目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)
	六価クロム		自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
	カドミウム		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
リサイクル 取り扱い 組み込み のもの	樹脂、ゴム部品への材料表示 リサイクルし易い材料*7 を使用した部品		100g以上の樹脂部品全て ウインドウモール類、バンパーフェース などの内外装部品	
	再生材を使用している部品 リサイクル可能率 グリーン購入法適合状況		吸音材 車全体で90%以上*8	

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。*3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内年間出荷台数の加重平均値)にすることを求めております。*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。*6 交通安全上必要な部品の極微量を使用除外。*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*8 新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年自工会)に基づき算出。※この環境仕様は2023年10月現在のものです。

届出・税金について(N-BOX スロープ、N-BOX CUSTOM スロープ)

タイプ	N-BOX スロープ / N-BOX CUSTOM スロープ
届出 / ナンバー	持込検査不要 / 5ナンバー
乗車定員(名) / 通常時 / 車いす乗車時	4 / 3
車検	初回3年 / 以降2年
税金	消費税 自動車取得税 / 軽自動車税
	身体障害者もしくはご家族が購入される場合には、免税措置が適用される場合があります。

上記措置の詳細は、最寄りの市區町村役場・福祉事務所・税務署にお問い合わせください。

福祉機器に関する貸付・助成制度
購入資金の一部貸付、改造費や免許取得のための助成など、幅広い貸付・助成制度が用意されています。各自治体によって条件が異なったり、未実施の場合がありますので、詳しくは「福祉車両総合カタログ」に掲載の問い合わせ先にてご確認ください。
自治体の予算、お客様の収入により適用されない場合もありますので問い合わせ先にてご確認ください。